

授 業 科 目 名	必修・ 選択別	単位数	対象 学年	学 期	曜・限	主に使用 する言語	その他に使用 する言語	担当形態
医療英会話 IV	選択	1	5	集中		英語	日本語	複数 (共同)

【担当教員】 大下晴美・Sean Chidlow・坂口寛子

【科目名の英文】 Medical English Conversation IV

【授業の概要・到達目標】

本授業では、カンファレンスや学会で症例報告を英語で行うことができるように、症例報告で用いられる基本的な語彙・表現およびコミュニケーションスキルについての理解を深め、英語で的確な症例報告を行うことができるようになることを目指す。

具体的な到達目標	医学科ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. 症例報告の中心となる CASE DESCRIPTION (主訴・現病歴・既往歴・治療法等) を英語で書くことができる。	○	○			○	
2. 症例報告の中心となる CASE DESCRIPTION (主訴・現病歴・既往歴・治療法等) を英語で口頭発表することができる。	○	○			○	
3. 症例報告に必要な英語の資料を読み、その内容を日本語もしくは英語で説明することができる。	○	○				○
各 DP への関連度 (計10)	3	4			2	1

【授業の内容】

回数	授業項目	授業内容	担当講座・教員	方法
1	Orientation	オリエンテーション, 症例報告の型	大下・Chidlow・坂口	講義・演習
2	Patient Information	患者情報の書き方・プレゼンテーションの仕方	大下・Chidlow・坂口	講義・演習
3	History Taking	医療面接内容の書き方・プレゼンテーションの仕方	大下・Chidlow・坂口	講義・演習
4	Physical Examination	身体診察内容の書き方・プレゼンテーションの仕方	大下・Chidlow・坂口	講義・演習
5	Summary	サマリーの書き方・プレゼンテーションの仕方	大下・Chidlow・坂口	講義・演習
6	Differential Diagnosis	鑑別診断の書き方・プレゼンテーションの仕方	大下・Chidlow・坂口	講義・演習
7	Plan	検査・治療計画の書き方・プレゼンテーションの仕方	大下・Chidlow・坂口	講義・演習
8	Communication skills	英語症例報告特有の定型表現, 質疑応答の仕方	大下・Chidlow・坂口	講義・演習

<p>【アクティブラーニングの内容】</p> <p>知識の定着・確認のための小テスト・演習課題。 学んだ知識をスキルに発展させるためのプレゼンテーション。</p>	<p>【その他の工夫】</p> <p>資料等の配布, 小テスト・演習課題などで LMS (Moodle) を活用。</p>
---	---

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	毎回の小テストや演習課題の準備として, 資料等の予習をする (10h)。 授業内のグループ (ペア) 活動・プレゼンテーションの準備・練習を行う (13h)。
事後学修	小テストや演習課題を用いて復習する (10h)。
想定時間合計	33

【教科書】

教科書は指定しない。必要な資料は Moodle に掲載する。

【参考書】

参考書は指定しない。必要な場合は, 授業で適宜紹介する。

【成績評価方法及び評価の割合】

講義中の課題 (小テスト・演習課題) (50%), レポート・プレゼンテーション (50%) の総合評価が基準点 (60 点以上) を満たすことを単位取得の条件とする。

【注意事項】

【備考】		
リンク		
	URL	
教員の実務経験の有無	×	
教員の実務経験		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	×	
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容		
授業形態	対面授業	